

## <議事概要>

### 1. 開会

司会の都市計画課・大西主事に続き、都市計画課・安福課長が開会のあいさつを行った。

### 2. 議事

令和4年度第4回策定検討委員会の開催結果等について、議事の概要を以下に示す。

発言者	議事概要
事務局	(事務局による開会あいさつ・副会長交代の報告)
前田委員 (副会長)	(前田委員より挨拶) ・河尻副市長の後を受けまして、副市長に就任しました前田と申します。 ・このように、もう4回目のマスタープラン策定検討委員会で、夢のある加西市、子どもたちに次代へのプレゼントとして素晴らしい都市づくりをしたいと思うので、本会議が忌憚のない意見をもちまして、これからの暮らしている市民にとって有用なものになるということを祈念しまして、一言、就任のご挨拶に代えさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。
事務局	(都市計画課長あいさつ)
事務局	(資料確認、以降の進行は田原会長に)
田原会長	・当委員会も、2つの年度にまたがる形で進行してきて、いよいよ大詰めに迎えている。作品に例えると最後の1タッチという段階なので、本日はそういう観点から、先ほど前田委員の挨拶にもあったが、忌憚ないご意見を頂戴できれば幸いである。 ・遅くとも12時までに済ませたいに思っている。最後の1タッチとか12時までに済ませたいとか、予定調和的な発言になっているが、決してそういうつもりではない。この都市計画マスタープランを良いものにするために、もちろんスケジュールはとても重要だが、それに拘泥なくご発言いただければ幸いである。 ・本当に良くするためということであれば、どんなことでも課題として取り上げていくべきだと思う。よろしく願い申し上げます。 ・次第に沿って進める。まずは、前回委員会の意見反映箇所について、事務局に説明をお願いします。
田原会長	(1) 前回委員会等の意見反映箇所についての質疑応答 ・只今の説明について、ご意見、ご質問があればお願いします。 ・非常に簡潔な説明で、実際にどういう形で反映してあるかは、参考1の素案を参照いただきながら、お気づきの点があればどんどん質問を。まだカバーしきれないところも当然あると思うので、その点に関しても何かご意見いただければ幸いである。

●●委員

事務局

田原会長

●●委員

事務局

- ・ 文言修正や簡単な部分については担当課にお願いしようと思うが、P15の転入転出者数についての考察。ふるさと創造部、主に人口増政策課では、女性の結婚での転出数が非常に多いことが課題になっている。
- ・ この考察で逆の結論になっていることに気づいた。下から3行目、25～29歳の世代の「転入者」となっているが「転出者」だと思う。次の行の、女性の「転出者が多いのは」「転入者が少ないのは」というふうに直すべきかと思う。その次の行、30～34歳の世代も「転出者数が」となっているのは「転入者数が」だと思う。
- ・ 結果、「女性の転出者数が多いのは子育てを機に転出することが多いことを示していると推測されます」に直していただくのが、このグラフの考察として正しいと思う。
- ・ ご指摘は、策定委員会の事前にはいただいている。ここの分析の書き方も、ごちゃごちゃと書いているところもあり、修正案として事実だけを述べるような形にしようかと思う。
- ・ 修正後の案として、転入者数と転出者数について、世代別の男性女性のみを見た段階で、「女性の方が男性より転出超過が多い傾向にある。男性については25～29歳の世代で大幅な転入超過になっている。女性については20～24歳の世代で大幅な転出超過。25～29歳の世代で転出超過するが大幅に縮小している。」という、事実だけを書くような形で修正させていただこうと思う。
- ・ 修正案が示されているが、この点について●●委員いかがか。
- ・ 事実を述べていただくことであれば、もうそれで良いと思う。
- ・ 補足説明すると、P15は前の素案にはなかった。
- ・ 今まではP14「転入者・転出者の世代別人数」だけでも、前回のご指摘で若者世代、女性というキーワードが出たので、男性だけ、女性だけで転出転入はどうなるかのデータを載せないと、キーワードの説得力がないのではということで、P15を急遽追加した。
- ・ 処理ミスでこうなってしまう、今回修正案を持参したが、やはり女性の転出が多くほぼ転出超過の状況。男性は一時的に、たぶん就職などで転入超過が起きているので、やはり女性をターゲットにしないといけないことが、グラフを見て分かる形にさせていただいた。
- ・ もう1つ補足。P87-88も前回までの素案にはなく、この場でもそう、都市計画審議会でも「北条地域」だけなのか「北条・善坊地域」にするのか、4地域か3地域かの話が出ている中で、もう少し、我々の考えている説明根拠を入れた方が良いと思い、生活圏域という話はしていたと思うが、具体的なバックデータということで、一昨年9月のアンケートで回答された方のお住まいのところ別で生活圏域の分析、この2ページにわたって書いている。
- ・ まず、P87では「日用品をどこに買いに行きますか」、「専門店だどこに買いに行きますか」、「大型ショッピングセンターだどこに買いに行きますか」というような問いをアンケートで行った中で、各地域ごとで、どこに動かれているのかを書いている。
- ・ 簡単に説明すると、食料日用品の表では北条地域や善坊地域の方は、

田原会長

●●委員

やはり基本的に北条に行っている。泉地域、加西地域の方も、メインは北条も、加西地域の方は北条以外、たぶん中野でしょうが、行っているのが3割に及び行動範囲が少し違う。

- さらに加西地域と北条地域、善坊地域の違いは、加東市、西脇市、小野市への動きが10%以上あり、明らかに異なっている。生活圏域という意味で、北条地域、善坊地域は西の方、加西地域、泉地域は東の方。それにプラスして加西地域は市内よりも市外に行く割合が非常に高いような解析もできた。
- 今回、3つに分けたこと、要は北条地域と善坊地域を何故1つに括ったかという説明ということで、追加した次第である。
- ●●委員の質問に対して、事務局から修正案の回答があった。同時に補足があったので整理する。
- まず、前回からの修正点について事務局から説明があったが、P15は、転入転出者の性別の分析を新たに加えた。P87-88は、生活圏域の比較をできるだけ分かるように表を揃えた。これは前回からプラスになった部分である。
- 特にP15は、新たなグラフが2つあるが、その記述について●●委員からご指摘があった。事務局の回答としては、できるだけ事実の記述をする方向で記載する。女性男性を見た時の全体的傾向と、年代別に、特に男性の転入が多いところがあるが、そこを中心に記載するという話であった。
- P16の国勢調査結果「昼夜間比率」の表、令和2年ではなく、その前の平成27年の表ではないか。上のグラフで昼夜間率107.5が、表は105.3になっている。令和2年ではなく、その前の国勢調査ではないか。
- P47の表現の中で「代表的な観光地」というのが、6行目辺りから記述されている。実際、下表の「観光入込客数」が多い順番で書いていただいていると思うが、観光地ということなので、できれば体育センターとかについては消して欲しい。
- それと、出典が「加西市歴史文化基本構想」になっているが、前にも言ったかも知れないが「観光推進基本計画」出典の方が、代表的な観光地になるのではと思う。
- P89、前回ちょっと指摘させていただき今回直していただいたが、少し言葉が足りないところがあると思う。既に加西市の場合は、高齢化率が30%を超えるような状況で、もうだいぶ前から超高齢化社会に位置づけられるような状況にある。
- 表現として「超高齢化社会となります」ではなく、「65歳以上の高齢者が20%を超える」というところも取ってもらい、「高齢化はさらに加速します」というような、さらっとそれぐらいで抑えてもらった方が良い。せっかく直していただいたが、そちらの方にしてもらった方が良いと思う。
- これは説明していただきたいと思う部分で、P95「まちづくりの基本目標」の「安全安心なまちづくり」で、黄色で追加している部分を含んだところ。「市街化調整区域においては災害リスクの低減が困難な場所へ

- は災害リスクを把握していない者の居住を誘導しないこととします」は非常に分かりにくく、回りくどい表現で、どういう意味で書かれているのか。
- 田原会長
    - ・災害リスクを把握していない者、誘導しないという、その2つのキーワードが分からないかなと思う。そこはご説明なりいただきたい。
    - ・追加で4点ほどご指摘があった。答える順番はお任せするので、1点ずつ回答をお願いしたい。
  - 事務局
    - ・子どもも足りないところが多く、本当に助かります。
    - ・P16の「昼夜間比率」、表だけが差し替えられていなかった。これは最新に差し替える。
    - ・P47、正直、私も勤労者体育センターは違和感をちょっと覚えた。単純に観光入込客の数字の上位を言ってしまい、確かにイメージとしておかしい。フラワーセンター、古法華は、たぶんイメージとしては問題ない。青野運動公園もゴルフ場なので観光的で間違いないかなと。いこいの村はりまも宿泊施設だけではないという意味で良いという気がする。なので、勤労者体育センターだけ抜く形にする。
  - 委員
    - ・法華山一乗寺を入れてもらうのもありだが、数字的にはもう少し下にはなる。
  - 事務局
    - ・一乗寺は、平成28年度だと43000人なので、そんなに低位置ではないと思う。一乗寺も適切かも知れない。入れ替え修正をさせていただく。
  - 田原会長
    - ・ちょっと待ってください。今のところは、そもそも出典、要するに観光客入込数のデータ出典を変えた方が良いのではというご指摘。
  - 事務局
    - ・今、観光推進基本計画が手元になく、どういう数字か把握していない。
  - 委員
    - ・たぶん、出典は両方とも同じものである。同じく3月末に作る「第3次観光推進基本計画」は、今まだ策定中ということで、最新のデータがご用意できると思う。第3次を出典にすることで、平成28年度よりも数値が新しくなっている。それに替えていただきたい。
  - 事務局
    - ・今、「第3次観光推進基本計画」はパブコメをされている。そこまで確認できず申し訳ない。この表も含めて、観光地の代表的なことも修正対応させていただく。
    - ・P89、ご指摘の通り分かりやすい言葉にした方が良くと思うので、藤後委員のご提案された加速化というような形で考えてささせていただきます。後で聞きに行くかも知れないが、そういう形で修正する。
    - ・P95、実は、わざとこういう表現にした。何故かと言うと、これは都市計画の話で、令和2年度に都市計画法が改正されて、市街化調整区域に限っては、災害のイエローゾーン、レッドゾーンで、特別指定区域とか地区計画ができなくなったとかやりにくくなった。原則、指定してはならない形になった。
    - ・それが、今、特別指定区域の全面見直しに踏み切っていることもあるが、市街化調整区域の中でそういう区域を指定し続けようとした場合に、イエローゾーンにある集落などでは、そういう災害リスクを分かっている者以外は住んではならないというような表現がある。
    - ・これは、なじみやすい言い方をすると、地縁者であれば、その地域のこ

とを分かっているから災害リスクを把握していると言えるが、例えば、空き家に移住者が来る。ただ、新規居住者区域にして新しく住むということを認めないというような方向を国が持ち出している。

- ・我々としては、単純にそういうことだけで止めるのは、いかなことかと思うので、そういう新しく移住して来る方でも、ここは危ない地域だということを、例えば、マップを見て知っておいてもらうとか、災害時に逃げるところは公民館であり、指定避難所はここにあるということ十分に説明した上で、やれば良いのではということもあったので、あえてこういう「災害リスクを把握していない人は、誘導はしない」というような書き方に、回りくどいけれどもさせていただいた。
- ・ただ、表現方法が分かりにくいことは考えさせていただく。趣旨としてはそういう形である。

田原会長

●●委員

- ・只今の説明、●●委員いかがでしょうか。
- ・修正なり訂正していただく部分があるも、最後の「安全安心のまちづくり」の中の表現。否定の否定になっていて、わざわざ「災害リスクを把握していない方」という表現を使って限定する必要があるのかと今の説明を聞いて思うが、この黄色で追加された部分を取ってしまっても、まちづくりの基本方針なのでそんなに問題がないような気もする。

事務局

- ・やはり、そこは限定していかないといけないというお考えがあるのか。
- ・これは正直、我々としては深い意味合いがある。
- ・やはり県と色々と話している中で、例えば、災害の方の制度が変わった中で、今までの30年に一度ぐらいの大雨のイエローゾーンが、計画規模で100年に1度、最大規模で1000年に1度の大雨で、もうダメだと言う。僕らからしたら無茶苦茶なことを、国が言い出した。
- ・しかも、それは市街化調整区に限ったことで、市街化区域、例えば、加古川駅前には5m浸水だが、それでも住むなとは言わない。市街化調整区域は住むなと言う。国の方針は無茶苦茶だと思う。
- ・それに対抗をしたいと思い、すごく回りくどい言い方だが、こういう上位計画で十分にリスクについて説明して把握されているから、ここは良いですよというような形に持っていきたい。
- ・県は単純に、地縁者だったら良いよというような解釈をしているところがある。
- ・ただ、例えば1000年に1回、0.5m浸水するって言われてもピンと来ない。住民の方に説明しても何でという話になる。実際、加西市の防災マップは計画規模で作っている。100年に1度。危機管理課に聞いたら、1000年に1度だと常識的にどうかという判断があったと言っている。
- ・なので、わざとこういう書き方をしている。ただ、表現がちょっと回りくどいということは考えさせてもらいたい。

田原会長

- ・P16、P47は、事務局の回答通りお願いしたい。
- ・P89で気になったのが、「1.人口急減・超高齢社会の到来」で記載しているのは全国の動向。しかし、地方はとっくに、もっとシリアスな状況にあることが、やはり書かれてないのは何か違和感がある。
- ・●●委員がご指摘のように、読み手にも誤解を与える懸念もあるので、

- これはあくまで全国の話で、時代の潮流と言いながら全国的なデータを出すと、却って「えっ？」という感じになる。そういうのは結構ある。
- その記載には慎重に言葉を足していただいて、地方はもう、もっと早くからシリアスな状況にあるという話であり、今更、超高齢社会になると言われても違和感がある。そこは、はっきりさせていただくようお願いしたいと思う。
  - P95、事務局のこだわりは分かる。何とか災害リスクという言葉を残せたら良いと思うも、今の表現が、何か選別するようなニュアンスがあるというのが非常に気になる。当事者から見ると、ちょっとこれはという感じがしないでもない。
  - 災害リスク、あるいは災害リスクの把握という言葉を残しながら、違和感がないような説明に努めて欲しい。
  - 普通に考えれば、災害リスクの低減が困難な場所へは居住を誘導しないなど、災害リスク云々。その中に災害リスクの把握というのが、やはり非常に肝要だということを、ちょっと言葉を足すことになり、なかなか納めるのが大変も、事務局のこだわりと、今の表現で何となく選別のようなニュアンスを思わせないような、両立させるようなやり方をぜひ考えていただきたい。
  - 後は、実際に修正をお願いするというので、よろしくお願したい。
  - 私からも2点。P116、「④都市と自然の共生」の2つ目の○の3行目、スマートタウン住宅地とあるが、ちょっとくどい。こう表現しないといけないのか。スマートタウン、住宅地は住宅地だが、何かもっとなじむ表現にさせていただいたらと思う。これはもうお任せしたい、最終的に検討した結果がこれしかないのであれば、もうこれで結構です。
  - これは1つの表現の話だが、P93、「まちづくりの基本的な方向性」の2つ目の段落で、「本市は、若い世代や女性からも支持される魅力ある都市となるため」とある。この「若い世代や女性からの支持」というのは、この都市計画マスタープランの中では、非常にキーワードだと僕は思っている。
  - そこで、若い世代、女性というのは、もう日本のあちこちで言われている話だが、本当にこれで良いか。例えば、「若い世代、特に女性」と言うのと全然違う。
  - 女性と若い世代を並べているのは、女性に関しては世代を超えて、世代を特定せずに広い意味の女性から支持を受ける。それと「若い世代、特に女性」というのは全然意味が違って来る。これは、いわゆる若い世代や女性という意味になる。
  - 逆に1つの手として、加西市の特徴として若い世代、特に女性という言い方もないことはない。僕はそれで良いと思うが、ただし、反発は出そうな感じ。
  - それを承知でやるのかどうか。世代に関係ない、広く女性から支持されるということも、もちろん意味していると思うも、実は、読んでみると非常に若い世代という感じ。特に若い女性という、若い層というか若いファミリーというか、そういうのがやはり全体として、移住の話ではす

事務局

ごく効いているような気もしないでもない。

・もしそうだとすると、非常に異例だが、今言ったような文脈もあると感じた。これは意見で、特に訂正求めるような話ではない。現行のままでも良いが、意図をはっきりさせるためにちょっと申し上げた。

・P116、スマートタウン住宅地は、我々の意図として、今、環境課をメインに検討している未来志向型ニュータウンのイメージをつけようと思い、あえて住宅地を入れた。

・スマートタウン自体が住宅地を含む話で、今回の脱炭素先行地域の取り組みは、住宅地を作るだけではなく既存の集落の住宅地のスマートホーム化、再エネを使って取り組むというまちづくりをしているので、先生のご指摘の通り、住宅地を抜いても意味としては問題ないと思う。そちらの方が綺麗なので、そうさせていただく。

・次の女性というところ。これはまた内部で一度、話をしないといけないが、ご指摘を受けたことを聞いて、私が単純に思ったイメージだが、移住定住的な話を触れているところについては、先生のご指摘の通り「若い世代、特に女性」という言葉にした方が良くも知れない。

・ただ、女性というのは世代だけではなく、今、自治会活動などに女性も前面にもっと入って欲しいとかの話もあり、女性という言葉に世代は捉えられないところもあった方が良いのではという気もしている。

・その辺は使い分けというような形で、都市計画審議会まであと 2 週間あるが、先生からあくまでもご意見ということで、数日その辺を考えさせていただき、都市計画審議会に最終案で出させていただきたい。

田原会長

・基本的には私も、「若い世代と女性」というふうにやる方が一般的で綺麗だと思う。加西市は本当に、どこにターゲットを当てるのかの確認のために申し上げただけで、そのまま結構です。

・ただ、本当に移住とか色々考える中では、もちろん世代は関係ないことはないが、やはり若い世代、特に女性に注目していただくことは、すごく重要なキーワードなので、そういうキーワードは、やはりどこかできちっと出して、加西市としてはこういうものを目指すという言い方もないことはないと思い申し上げた。

・検討していただければそれで十分で、もしかしたら余計なことを申し上げたかと思う。

●●委員

・先ほどの「特に女性」という表現は、逆にあえて、対象、分野を絞っていて良い。どこかに入れてもらいたいと思う。

・加西市の明快な目標として、「若い世代の女性」というところはもう議会の中でも述べている、ある意味キーワードなので、総論的なところは現状の表現でも良いが、非常に良い提案を会長からいただけたと思う。入れるという意図をもって入れてもらいたいと思う。

・教育委員会として確認した P127、「その他の都市施設の整備方針」の「①教育・文化・行政施設」で、新たな統合中学校のことで、あるいは公民館のことを触れていただけているところは、非常にありがたいと思う。

・私が読み込めていない部分もあるかと思うが、この場で述べたこともある、中学校統合に伴う休校、廃校となる学校の跡地利用。その辺は、ど

事務局

ういうふうに、どこでどう位置づけられているのかを教えてください。

- ・P120、「市街地整備の方針」の一番下で、「公共施設跡地は、地域を交えて検討する機会を設けるなど、利活用について検討します」の1文で終わらせている。
- ・もし、●●委員に限らず、この言葉では足りない、もう少し積極的な言葉が必要だということであれば、何かご提案いただけたら少し加筆させていただく。
- ・一応、地域を交えてという言葉があるので、行政が勝手に決めるわけではないという意味合いも含めて書いた。
- ・検討するという言葉ではなく、例えば、民間活力の導入を図りながらとかを思いついたが、そのようなことが必要であれば、教えていただけたらそうさせていただく。

●●委員

- ・とりあえず、それに対応する内容ということできせていただいている。
- ・基本的には、これをもって都市計画マスタープランの位置づけという体裁が整うのであれば、私は問題ないと思う。
- ・この文面でいくと、奇しくも事務局が述べられたように、民間活力の導入という、まだ全く何も決まっていない、議論もされてない話だが、「民間活力などの導入も含め」ぐらいの文言も加わった方が、幅を持たせた表現になるかという感想はある。検討してもらえればありがたい。

●●委員

- ・P87で、4地域から3地域にすることの説明を加えていただき、すごく分かりやすいと思う。
- ・そもそも、4地域から3地域にすることについて、私は、人口が減ることによって地域を集約化して効率化していく意味合いがあると思っている。それ自体は、すごく良いことだと思う。
- ・以前、地域のまとまりというのは、現在の加西市では小学校単位が一般的だと言われていて、実際そうなのかなと思うが、地域によっては小学校の人数がすごく少なくなっていたり、人数が少ないことで、その地域に対するイメージが悪くなっているようなところもある。
- ・地域、自治区のまとまりは、もう少し大きい方が良いと個人的には思っていた中で、こういうふうに地域のまとまりを大きくしていくことは良いことだと思う。
- ・そういうことが、あまり書かれていないのか私がかかっていないのか、そもそも地域の集約化の流れがないのか。その辺を教えてください。

事務局

- ・P87-88、地域別構想を作るに当たって4地域から3地域にしたのは、やはり、そこに住まれている方の文化や歴史から持ってくる考え方、その生活行動範囲が一体的なところで、それぞれ考えていくべきということもあり、アンケートを取って出た結果を見て、4地域から3地域にした。
- ・なので、校区にこだわっているわけではなく、たぶん前回もお話したと思うが、中学校区という縛りにこだわるべきものでもない。言い方はあれだが、たまたま旧町になったことで、実際この3地域では、動きが違



っていて考え方も少し異なる。これは、ワークショップした時にも感じた。

- ・今、●●委員がおっしゃった、小学校区でかなり人が減っているところがあり、もっと大きくした方がということについては、正直に言うと、今の小学校区単位でふるさと創造会議も運営されていて、一所懸命にされているが、それを我々が大きくする、地区単位を大きくすることを誘導するかどうかについては、ちょっとまだ議論の余地はある。
- ・そういう歴史や文化の基本は、たぶん小学校区だと思うので、例えば、他市でも、小学校の統廃校があったとしても、新しい小学校区で、まちづくりの協議会を立ち上げているかと言うと、また違うと思う。
- ・今、それをはっきりと示すというよりは、細かい表現ではないところで見ると、全体構想の P95 で「地域主体のまちづくり」とは書いているが、ここでふるさと創造会議のことに触れているも、別にその範囲がどこかは、今は書くべきではないと思っている。
- ・将来、もっとエリアを大きくするという声が、流れが出てきたら、そうあるべきかも知れないし、今後の課題だと思うので、今はその地域ごとの考えや協働や、活動を支援していく。それが大きくなるという流れになってきたら止めることではないと思うので、そこまであえて触れないという回答になる。
- ・非常に興味深い議論というか、重要なご意見だと思う。
- ・コミュニティは従来、小学校単位で行われるものが、色んな形で揺らいでいることは、特に地域によってはかなりシリアスの話。
- ・そうなった時に、地域別構想は、おそらく総合的な観点で地域区分をしているが、それも気になるというのが、たぶん本当のところだと思う。
- ・だから、なかなかそこを綺麗に、クリアに書くというのは難しいが、やはり、この地域別構想は、どういうことでやっているのかということ、誤解なく分かっていたくのはとても重要なことなので、最終的にそういう観点で P130 辺りにあるが、この地域区分の設定が、これで良いのか悪いのかというのは、もう 1 度、少し確認をしていただきたいと思う。
- ・P99 と P102 で表現されている地域拠点について、考え方がちょっと良く分からなくなってきたので、改めて質問をさせていただきたい。
- ・主に、「小学校周辺の公共公益施設・生活利便施設など都市機能が立地しているところを地域拠点」と P99 で位置づけられて、P102「将来都市構造図」に表現されていると思う。
- ・例えば、生活利便施設や公共公益施設は、何があれば地域拠点という位置づけになるのかの分類や区分けがあるのかが分からない。
- ・日吉小学校周辺については地域拠点とは特になっていないが、宇仁小学校周辺は地域拠点になっているのか。小学校ではないところでは、畑町辺りに地域拠点があるのと、網引町辺りに地域拠点がある。その辺で地域拠点の考え方が良く分からなくなってしまった。改めてご説明をお願いしたい。
- ・ご指摘の通り、明確に多くの方がイメージするのは、小学校のあるところ

田原会長

●●委員

事務局

ろではないかと思う。

- 私たちとしては、それだけではなく P29 の分析のところで商業施設に触れているが、拠点に関連する説明ができる、「拠点レベル及び商業施設の分布」という図を作っている。
- これは、人口の分布状況にプラスして、右に小さい図を描いているが、「都市機能拠点レベル」、店や診療所、福祉施設とか学校、公民館とかがどこにあるか。その下は「公共交通拠点レベル」で、バス停や駅。それらをミックスしたものが左の大きな方で、これで拠点性のある程度確認した上で、地域拠点というのを、私たちなりに考えさせていただいた。
- 今、小学校ではないところもというお話があった、例えば、富田の方で、実はあえて畑の方にも地域拠点を入れている。何故かと言うと、P29の色を見ていただくと、富田の方で赤が濃いと思われるところが、小学校の近くよりも、むしろ畑と三木宍粟線の谷町の辺りぐらいになる。そういうことや、地域のばらけ方、分散のこともあり、あえて畑の方に色に塗ってみた。
- 九会の方だと、中野に副都市核を設定しているが、範囲が非常に大きいので、産業団地に近く、P29を見ても赤が濃いめに出ている網引の方にも地域拠点という位置づけはしている。宇仁の方も、先ほど小学校ではないかなとご指摘があったが、僕のイメージは国正の方で、P29の宇仁の方を見ていただくと、小学校のあるところよりも国正の方が赤みは濃い。たぶん、老人福祉施設がかなり多くあることで、赤みが強く出ているが、そういうものを参考にしながら考えて設定させていただいているという答えとなる。

田原会長

●●委員

- 事務局の考え方は以上のようなのだが、●●委員いかがか。
- このスコア、点数が高いところを拠点とする説明は分かった。
- その点数の出し方の根拠が分からないところもあるが、何かちょっと、先ほども申し上げた、小学校が地域の中心というところで、一定の理解ができる部分もあれば、やはり、畑とか、宇仁でも国正の辺りというのは、ちょっと理解がしにくい。
- 網引についても、例えば、私が思ったのは、網引があるのは堀井内科医院があるからとか、医療施設があるから点数も高くなっているとは思いますが、点数だけで説明がつけられるかどうかは、ちょっと疑問が残るところ。

田原会長

- ここはなかなか難しい議論がある。現状の分析結果と、それに基づく地域拠点の設定で、感覚的な整合性がない場合は一体どうするかという話になる。これは結構大きな話。
- その辺りは、私のような土地勘のない人間には、いまいち分かりにくい部分があるも、一番望ましいのは両方兼ね備えているのが良いが、そういう意味も含めて、この地域拠点のあり方を、どんなふうと考えていくか、表現等がこれで良いかどうかを事務局の中でもう 1 回議論をしていただきたい。
- 地域拠点と言っても圏域を示すものなので、その辺りの考え方も人によ

●●委員

事務局

田原会長

っても、ばらつきがある可能性がある。そこも含めてどういう表記が良いのか、検討していただきたい。やや大きな宿題だが、いずれにしろ大問題になるほどではないのでは。

- ・要するに、地域拠点の成立要因は何と言われた時に、ちょっと分からないということだと思う。そこをはっきりさせていただく必要はある。
- ・P153、泉地域の情報の中、「主な文化財・観光資源」で、上野に石部神社という大きい神社があるが、それが抜けている。
- ・下の写真、北条地域や加西地域と比べると地味な写真が多い。特に、建物ばかり。他地域は観光地などの写真があるが、泉地域はどうしても観光地が少ないので、このような建物ばかりだが、よつばこども園の写真は如何なものか。こども園はどの地域にもあり、泉地域だけではない。
- ・代わりに、石部神社や日吉神社は秋に大きな祭りをするので、その時の神輿とかは大きな観光資源になるため、そのような写真を掲載していただく。青野運動公苑も、立派なテニス場やゴルフ場があるので、建物ではなく実際に使われる施設の方が華やかさがあって良いと思う。
- ・オークタウンについても、風景的なキャンプ場であるとか、実際に人が使われる場所、人気のある場所を撮っていただいたら、地味な建物ばかりではなく、華やかな写真になるのではと思う。
- ・P159の「景観形成の方針」、お寺の名前で八王子神社が黄色で追加されているが、八王子神社はあまりポピュラーではない。神社であれば、今言った石部神社や日吉神社の方で、泉地域に住んでいる人間としては、わざわざ追加で挙げるほどではないと思う。挙げられているので何か根拠があるのかと思い、質問した。
- ・石部神社については、地域にお住まいの委員からご推薦があり掲載させていただく。私どもよりも住まれている方のほうが実感はあると思う。
- ・写真、このようなデザインにしたのは、元々、河合委員の言葉で、都市計画マスタープランは移住定住の資料にもなるということもあり、できる限り公共施設ではなく、そのような方に参考になる写真をとると思い、例えば、北条地域ではイオンのゼネラルマネージャーにお願いして写真をいただいたりした。
- ・ご指摘の通り、泉地域では苦慮したところがある。ただ、よつばこども園を入れたのは、ワークショップの時に、よつばこども園の周りを住宅団地にみたいな意見も出ていたからである。
- ・泉地域の方は、やはり中心は殿原だと考えられているが、新しいこども園を地域のシンボリックに捉えていることが多いのかと感じたので、他地域ではこども園は書いていないが、あえてよつばこども園を入れさせていただいた。
- ・ただ、ご指摘は非常に重要と思うので、お祭りや、石部神社や日吉神社の写真に差し替える方法で検討させていただく。
- ・本来の趣旨は、ビジュアライズして魅力を感じてもらえるようにということだと思う。できるだけ地域の魅力を感じられるものにしていただくよう、よろしく願いたい。
- ・確かに建物ばかりだと、事件報道で警察署の写真ばかり出てくるのと同

●●委員

じような感じになる。

- ・泉地域だと P153、全体的に各地域、このように写真などで分かりやすくしているというふうにする。また、文面も非常に前向きな言葉を使っていたら、非常に魅力的に紹介していただいていると思う。
- ・泉地域に移住される方で、特にどういうところが魅力なのか。やはり自然が豊かなところと、新規居住者区域も、この辺りが最初に手を挙げられたと思うが、非常に前向きに受け入れる体制があると思う。そういった面が入っても、魅力をすごく伝えやすいのかなと感じている。
- ・写真も、分かりやすい拠点というのがあるが、本当にただ自然というか、自然が広がっているところでも良いかなとも思う。場所を特定する、どの場所にするのが難しいかも知れないが、ただ自然があることに魅力を感じているという点もある。

田原会長

- ・これは特に、事務局のコメントはなくても良いですね。
- ・●●委員から地域を良くご存じの方のご意見。河合委員は、むしろ地域外の人の視点からどう見えるかということも反映して記述をして欲しいという、これももったいな話。
- ・特に、自然が豊か、受け入れ体制というよりは環境が良いというキーワードもあるので、そういうものを盛り込めるのか、盛り込むとしたらどう盛り込むのか、写真をどう対応させるのか。
- ・この泉地域については、●●委員のご指摘もあったので、諸々の点を再検討していただきたい。

事務局

- ・●●委員からの質問について、八王子神社の話。これは生涯学習課から載せて欲しいとの意見があった。

田原会長

- ・内部の調整をよろしくお願ひしたい。

●●委員

- ・●●委員の補足的な情報を。石部神社を追加する話、実は「いそべ」と読むが、市内には式内社と呼ばれる神社が3つあり、その1つで神社格という意味では非常に高い神社。
- ・写真の話、「お薬つきイチョウ」は、割と市内でも観光地として有名なもので、それも1つの候補に考えてもらえたら良いと思う。
- ・久学寺が書いてあるが、赤穂浪士の菩提寺の三岳寺は、久学寺と東京の泉岳寺と赤穂の花岳寺。三岳寺の1つとして久学寺もお触書を作っているようなお寺だということ、追加情報として参考にして欲しい。

●●委員

- ・前から気になっているというか楽しみにしていたことで、地域別で写真があるも、他にも入るのか。ここだけなのか。

事務局

- ・今のところ他に入れる予定はない。
- ・今回、表紙は用意していないが、表紙にはもちろん写真が入る。

事務局

- ・表紙の説明をさせてもらう。手元には用意していないが、今のところの計画では、気球をイメージしたような絵にして、その気球の中に色々代表的な、例えば、北条鉄道の写真とかを散りばめた写真を、今、考えている。
- ・見てもらった方が良いので取ってくる。そこには写真を使っている。

●●委員

- ・写真について、うちの●●で、加西市が使って良い写真がかなりある。もし良ければ、そちらをのぞいてもらえたら。

- 事務局
- ・基本的に、加西市からいただいている写真。
  - ・我々が現地で撮った写真もあるが、加西市からいただいた。もちろん使用許可がある前提。
- 田原会長
- ・この都市計画マスタープランで、写真を効果的に使うというご提案。表紙も含めて是非よろしくお願ひしたい。
- 委員
- ・P131、北条・善坊地域の写真も、たぶん見直しされて反映いただくと思うが、古法華自然公園も入口の写真なので、イメージとしては芝生のあるような場所が良いと思う。
  - ・私は富田なので、富田の写真がないのは仕方がないが、イメージとして北条・善坊地域は北条が強くなるので、こういう感じになるのか。
- 委員
- ・2年間、策定委員会に出席し、地元にもワークショップを開いて丁寧に意見を吸い上げていただき、きめ細かくまとめている印象がある。
- 田原会長
- ・●●委員、初めて出席されたばかりだが、今しがたの意見交換等も含めて印象等があれば、お願ひしたい。
- 委員
- ・とても夢のあるものになっており、皆さんそれぞれの確な指摘、例えば、●●委員の地域拠点や、田原先生の若者、特に女性。それに対する事務局の、移住定住のところでは、そういう表現を使いたいという的確な回答があり、非常に良いものができると思う。
  - ・今、色々な写真も含めて、たくさんの情報を込めたいと思っておられると思うが、例えば、写真をもうちょっと展開してQRコードを付けたら、もうちょっと深掘りをしてみたい方は、スマートフォンで参照する。
  - ・泉地域についても、4つの小学校があるので、そこがずらっと見られるようなサイトに、今はクラウドで簡単にアップできるので、そういうものが見られたら、一般の方への訴求力は上がってくると思う。
  - ・次回は、だいぶ先だが、SNSも含めて色々なビジュアルが展開できるような工夫もしていただければ。もしできるならば、どこか1つだけでもQRコードを付けて、そこからバックデータとかにアクセスできるようにすれば、もうちょっと若い人にも意味が出て、完成度も良いと思う。
  - ・地域拠点も、私も頭の中で？マークがあるも、おそらく皆さん、なかなかこれを理解するのは難しいので、シンプルで良いものが、要約して良いものができ上がったと思う。
  - ・田原先生には大変感謝を申し上げます。
- 田原会長
- ・少々耳の痛いご指摘。若い世代と言いながら、若い世代向けの工夫がちょっと足りないよというお叱りでもあったと思う。
  - ・これは本当にその通りで、その辺の目配り忘れていたが、地域別構想の時も●●委員からご指摘があり、写真を入れるというアイデアにたどり着いた。内容もさることながら、若い世代及び女性というところに、どんなふうに伝えるかという部分が、すごく重要な課題として存在する。そこをどうするか。
  - ・内容の方は、それなりに頑張ったと思うが、そのところまで次は考えていく必要があると思ひ至ることになった。

田原会長

- ・他にご意見がなければ、本日の議事（1）については、ここまでにさせていただきます。
- ・地域拠点のところ、色々ご指摘、ご提案があったが、それはまた事務局で検討していただくとして、地域拠点だけは少し課題もあるなというふう感じた。
- ・そこは今の時点でこうなると、なかなかあの決めにくいと思うが、さらに詰めて結論を最終的に出していただいて、その上で最終案という形になる。
- ・本検討委員会の手はこれで離れることになるので、最後に、この加西市都市計画マスタープランの策定について、本委員会としては、こういう形で都市計画審議会へ諮問するというので、皆様の同意、ご了承をいただきたい。
- ・そこについてだけ、議決というわけではないがお諮りしたい。いかがでございましょう。
- ・よろしいでしょうか、ありがとうございます。ご異議がないので、議事については、これで終了とさせていただきます。

田原会長

## （2）その他について（連絡事項など）

事務局

- ・（2）その他、事務局の方から何かあるか。
- ・今はまだ案だが、このような形で、これが気球になって、その中に加西市の画像を詰め込んでいる。1つ大きな気球の中に、色々な写真を詰め込んでいて、ねっぴーも飛んでいる。

田原会長

- ・案を修正中だが、イメージとしてはこのような感じになっている。
- ・これについては、特に意見を求めても収集がつかなくなる可能性や、皆さんの賛同を得られるところまで色々な意見があろうかと思う。
- ・私の方から言わせていただくとすれば、表紙はこれで行くということだったら、もうそれで良いが、●●委員からのご指摘のように、若い人の間では1枚の写真がものすごいインパクトを持っている。いわゆるインスタ映え。
- ・加西市で一番、インスタ映えする写真はどのようなものがあるか。それがこれだと言われると、これは作られた写真の集合体で、インスタ映え写真は、もう本当に1枚。
- ・日常を切り通るところに意義があり、何かこういうものを作るとすれば、そういう観点で選ぶとどうなるかということで考えていただくと良いのかなという気がした。よろしくお願ひしたい。

田原会長

- ・本日も長時間にわたって議論いただいた。昨年度から始まり、2年度にわたって非常に長い間、ご議論に積極的に参画いただき、誠にありがとうございました。
- ・今日の意見は、素案に十分反映していただくよう、事務局の方をお願いして、本日はこれで終わりたいと思う。
- ・事務局に進行をお返す。

## （最後の挨拶）

事務局

- ・長時間にわたりご議論いただき、ありがとうございました。

田原会長

- ・本日、頂いたご意見は素案に反映し、都市計画審議会の方にお諮りしたいと考えているので、よろしく願いいたします。
- ・冒頭に申し上げた通り、策定委員会については本日が最後で、2月1日に都市計画審議会を予定しており、その中でご審議いただくが、それに当たって、田原会長の方から策定委員会での総括か、ご意見等を頂戴できればと思いますので、よろしく願いいたします。
- ・もう今までの議事の中で、十分に述べさせていただいたので、特に付け加えることはあまりないが、今回、自分なりにこの都市計画マスタープランを振り返ってみて、ちょっと印象深いことはいくつかありました。
- ・データに基づいて現状分析をして、今後の姿を決めていくプロセスだが、そのデータ自体が結構、定型的になっているというか、メニューが決まっている定食のような感じに私の中では思ったが、今回は、いや、そうではないデータがあることをいくつか発掘していただき、それを反映できた。今日も補足で2つほどありましたが、これは非常に重要です。それが特に、ストーリーの展開に反映しているという形になっているのは、とても良いことだと思います。
- ・もう1つ、都市計画マスタープランは一種の理論武装みたいなもので、私の中ではどちらかと言うと、例えば、県と何かやる時には、非常に抵抗ツールにもなり、何よりも施策を展開していく上でのベースになるもので、所信表明でもあるわけですね。
- ・どちらかと言うと、非常に事務的など言うとおかしいですが、どちらかと言えば地味なものだと思っていたが、今回、●●委員や●●委員にご参加いただいて、比較的若手の市民の方からのご意見をお伺いしていると、色々な役割があるということが改めて確認できて、だから、地域別構想も、私にとっては非常に新鮮なものになりました。
- ・やはり、私も含めて長いことやっていると、同じような定型でついついやっちゃうが、これは行政の方にもコンサルタントの方にも言えると思うが、何かやはり新しい時代のために何か、そういう視点が今回いくつか盛り込めたのではないかなというふうに思いますので、私にとっては印象的な、おそらく記憶に残ると言っても、これが最後になるが、そういうものになったので非常にお礼を申し上げたいと思います。
- ・ちょっと褒めすぎになったきらいもあるけれども、課題があるのも事実で、特に●●委員が言われたように、実際どう伝えるかということに関して、行政文書全体がそういう課題を持っている。何かこれをきっかけに、そういうやり方ができたらなというふうに思っているので、この部分は今から奮闘される事務局も含めて、加西市の方に是非お願いをしたいと思います。
- ・非常に粗雑な感想ではございますが、改めて感謝を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。
- ・それでは、これをもちまして令和4年度第4回加西市都市計画マスタープラン策定検討委員会を閉会いたします。令和3年度から2年間、長期間にわたりご審議いただきまして、誠にありがとうございました。

事務局

以上